

1/31 (水) の発表

報道発表資料の配付日時 1月31日 (水) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度北海道教育実践表彰の決定について		
記者レクのお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時～	発表者	
		発表場所	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月25日に開催された教育委員会において、令和5年度の北海道教育実践表彰の被表彰校及び被表彰者を決定したので、別添のとおりお知らせします。 ○ 表彰につきましては、教育庁職員が学校を訪問するなどして個別に実施することとしています。 ○ 本表彰については、道民に広く周知されるようお願いいたします。 		
参考	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道教育実践表彰は、本道の学校教育の向上に大きく貢献している学校、並びに児童、生徒の指導に情熱を傾け、優れた実践活動により成果を上げている教職員を表彰し、もって学校教育の振興に寄与することを目的として、昭和44年度から実施しており、本年度で54回目となります。 		
報道(取材)に当たってのお願い			
担当 (連絡先)	<p>学校表彰：教育庁学校教育局高校教育課高校教育指導係 担当：岡本課長補佐 ダイヤルイン：011-204-5764 (内線：35-705) 公用スマホ：080-828-51346 (内線：35-710)</p> <p>教職員表彰：教育庁教職員局教職員課職員制度係 担当：長谷川課長補佐 ダイヤルイン：011-204-5712 (内線：35-254) 公用スマホ：080-828-54488 (内線：10-832)</p>		

別記

1 学校表彰

9校（小学校4校、中学校2校、高等学校3校）

学 校 名
小樽市立山の手小学校
江差町立南が丘小学校
旭川市立旭川第三小学校
釧路市立清明小学校
新篠津村立新篠津中学校
美瑛町立美瑛中学校
北海道夕張高等学校
北海道上ノ国高等学校
北海道白糠高等学校

2 教職員表彰

26名（小学校11名、中学校6名、高等学校8名、特別支援学校1名）

氏 名	学 校 名	職 名
本 岡 育 美	江別市立東野幌小学校	教 諭
佐 藤 皓 亮	共和町立北辰小学校	教 諭
東 山 志 穂	苫小牧市立錦岡小学校	教 諭
吉 井 真 裕	登別市立幌別小学校	教 諭
佐 藤 彩	せたな町立北檜山小学校	教 諭
谷 口 寛 人	網走市立東小学校	教 諭
河 合 建 弥	佐呂間町立佐呂間小学校	教 諭
程 野 純 貴	足寄町立足寄小学校	教 諭
森 圭 介	音更町立音更小学校	教 諭
大 場 公 博	釧路市立昭和小学校	主 幹 教 諭
大 場 佳	別海町立別海中央小学校	主 幹 教 諭
井 上 大 輔	美瑛市立美瑛中学校	教 諭
高 井 彩 佳	北広島市立東部中学校	教 諭
山 本 愛	旭川市立中央中学校	教 諭
八 鍬 勇 太	幌延町立幌延中学校	教 諭
渡 辺 友 章	北見市立光西中学校	教 諭
神 下 智 行	帯広市立帯広第五中学校	教 諭
石 田 康 幸	北海道岩見沢農業高等学校	教 諭
榊 田 啓 太	北海道札幌南高等学校	教 諭
宮 川 萌	北海道伊達開来高等学校	教 諭
上 田 弘 恵	北海道津別高等学校	教 諭
宮 川 尊 充	北海道帯広緑陽高等学校	教 諭
森 志 美 江	北海道大樹高等学校	教 諭
島 加 奈	北海道霧多布高等学校	教 諭
鈴 木 祐 二	北海道標津高等学校	教 諭
内 田 義 文	北海道今金高等養護学校	教 諭

3 若手教職員等奨励賞

13名（小学校3名、中学校2名、義務教育学校1名、高等学校6名、特別支援学校1名）

氏 名	学 校 名	職 名
千 葉 慎 也	寿 都 町 立 寿 都 小 学 校	教 諭
藤 井 司	上 富 良 野 町 立 上 富 良 野 小 学 校	教 諭
兒 玉 千 里	釧 路 市 立 城 山 小 学 校	教 諭
棒 手 優 美	函 館 市 立 椴 法 華 中 学 校	栄 養 教 諭
児 玉 和 宗	更 別 村 立 更 別 中 央 中 学 校	教 諭
住 吉 太 一	七 飯 町 立 大 沼 岳 陽 学 校	教 諭
菅 野 真 文	北 海 道 森 高 等 学 校	教 諭
三 浦 学	北 海 道 剣 淵 高 等 学 校	教 諭
佐 藤 優 樹	北 海 道 枝 幸 高 等 学 校	教 諭
澤 井 愛 里	北 海 道 雄 武 高 等 学 校	教 諭
粒 針 里 穂	北 海 道 芽 室 高 等 学 校	教 諭
関 谷 望	北 海 道 釧 路 明 輝 高 等 学 校	教 諭
大 久 保 城 汰	北 海 道 小 平 高 等 養 護 学 校	教 諭

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	小学校	管内	後志	学級数	17（5）	幼児児童生徒数	387	教職員数	36
学校名	小樽市立山の手小学校					校長名	伏間 公洋		
教育活動	<p>開校以来、「学び合い」「ひびき合い」「きたえ合い」の3つの「合い」で、未来を拓く山の手の子を目指し、「学習の基盤となる国語力の育成」を目指す授業改善と「チーム山の手」を目指す学校組織の構築に力を注ぎ、喫緊の課題解決に向けた取組や学校方針などを保護者や地域の方々に明確に伝え、信頼される学校づくりに取り組んでいる。</p> <p>特に、授業改善では、表現力を育成するため、外部講師を招へいして公開研究会や講演会を開催し、先進的な実践事例を取り入れるとともに、ICT端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進しており、全国学力・学習状況調査において国語科の平均正答率で全国を上回るなど、学力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自校で学力向上ロードマップを作成し、組織的な授業改善の取組を行うとともに、その成果を管内外に発信するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成30年度 北海道教育委員会「授業改善推進チーム活用事業」配置校</p> <p>平成30年度～令和5年度 小樽市教育研究所 調査研究活動事業 研究推進校（市内）</p> <p>令和4年度 第68回青少年読書感想文全道コンクール小学校の部学校賞 受賞</p> <p>後志管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 学級数、児童数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（ ）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	小学校	管内	檜山	学級数	9（5）	幼児児童生徒数	50	教職員数	21
学校名	江差町立南が丘小学校					校長名	吉岡 栄		
教育活動	<p>長年にわたり、「考えを整理し、自分の力で実行できる子ども」の育成を目指し、「子どもたち一人一人がいきいきと輝く学校」の理念の下、教育活動の充実に取り組んでいる。</p> <p>特に、近年はSDGsやESDといった持続可能な社会の実現に向けた分野に重点的に取り組み、令和4年度の北海道フロンティアキッズ育成事業に参加し、環境にやさしいまちづくりのために自分たちのできることを宣言として発表するなど、環境教育に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和5年4月に開催された先進7か国気候・エネルギー・環境大臣会合のレセプションにおいて、北海道フロンティアキッズ育成事業に参加した他4校と一緒に取りまとめた「G7子ども行動宣言」を経済産業大臣・環境大臣に手交するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成25年度～令和2年度 北海道教育委員会「学校力向上に関する総合実践事業」指定校</p> <p>令和3年度 北海道教育委員会「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」協力校</p> <p>令和4年度 北海道環境生活部「北海道フロンティアキッズ育成事業」参加</p> <p>檜山管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 先進7か国気候・エネルギー・環境大臣会合レセプション参加</p>								

※ 学級数、児童数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（ ）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	小学校	管内	上川	学級数	9（5）	幼児児童生徒数	235	教職員数	29
学校名	旭川市立旭川第三小学校					校長名	三木 勝 仁		
教育活動	<p>長年にわたり、「仲よくする子」「よく考える子」「きたえる子」の育成を目指し、児童自身が自らの目的や目標に向けた変容を実感できることを大切にされた教育活動に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和5年度は「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」配置校指定を受け、推進教員とのTT指導等を通じた効果的なICT機器の活用により、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、児童一人一人の興味・関心等を踏まえた、きめ細かな指導・支援を家庭・地域・学校が一体となって進めたことで、情報活用能力等の資質・能力の育成に大きな成果を上げている。</p> <p>また、河川教育に力を入れ、身近な地域の自然環境や歴史等について理解を深める学習活動を関係機関とともに進めることを通して、ふるさとの良さに目を向け、愛着や誇りを感じる心を育むとともに地域の未来を担う人材を育成するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成25年度・平成26年度 「旭川市授業力向上研究推進事業」実践研究校</p> <p>平成27年度 東京海上日動教育振興基金「学校研究」教育研究助成</p> <p>平成28年度・平成29年度 道徳科教育実践研究発表会 開催</p> <p>令和3年度 北海道国語教育研究大会 会場校 上川管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和3年度・令和4年度 「旭川市教育実践推進校」指定校（1人1台端末を活用した指導方法）</p> <p>令和4年度・令和5年度 公益財団法人河川財団「河川基金助成事業」学校部門採択校 （河川教育「エンジョイマップを作ろう」）</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」配置校</p>								

※ 学級数、児童数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（ ）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	小学校	管内	釧路	学級数	16（4）	幼児児童生徒数	335	教職員数	32
学校名	釧路市立清明小学校					校長名	中原 英雄		
教育活動	<p>長年にわたり、「地域のなかで学び、つながり、主体的に協働できる子ども」の育成を目指して、近隣の小・中学校と連携し、学校力の向上の推進に取り組んでいる。</p> <p>特に、小・中学校9年間を通して目指す子ども像の実現に向けた教員の指導力の向上のため、地域の小・中学校と連携した教員の人材育成に力を入れ、地域で初任段階教員を育成するシステムの構築や教員研修会の合同開催、中学校を会場とした近隣小学校合同でのキャリア・カフェの実施などを通じて、指導方法、組織マネジメント力の向上など、近隣校と連携した学校力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、地域の特性を生かしたICTの活用による探究的な学習活動を展開しており、地域の関係機関と連携の下、校地内の池公園を活用した学習活動の推進や、NIEの実践による情報リテラシーの育成及び読解力の向上を図るなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成29年度 釧路市教育委員会研究指定教育研究発表会 研究発表校</p> <p>令和2年度～令和4年度 北海道教育委員会「学校力向上に関する総合実践事業」中核校</p> <p>令和3年度 釧新教育活動賞 受賞</p> <p>令和4年度 釧路管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 学級数、児童数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（ ）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	中学校	管内	石狩	学級数	5（2）	幼児児童生徒数	55	教職員数	15
学校名	新篠津村立新篠津中学校					校長名	寺嶋裕介		
教育活動	<p>長年にわたり、「先人の熱いところを受け継いでふるさとに生きる力を育む生徒」の育成を目指し、「学ぶ過程の重視」「仲間との協働」等を意識した教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る実践の工夫により、ICT機器を教育活動に積極的に取り入れるとともに、オンライン学習教材や新聞記事データベースを効果的に活用し、生徒が自主的・自発的に取り組めるよう授業改革を行うなど、学力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、第3学年の総合的な学習の時間では、生徒が村議会で村の施策について提言する「政策提案会」を実施し、生徒が地域の課題や将来について考える地域総掛かりによるふるさと教育を充実させるなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和元年度 北海道教育委員会「道徳教育推進校事業」指定校</p> <p>令和2年度 北海道教育委員会「オンライン学習導入モデル事業」研究実践指定校</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」協力校 石狩管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」実践校</p>								

※ 学級数、生徒数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	中学校	管内	上川	学級数	14（8）	幼児児童生徒数	218	教職員数	29
学校名	美瑛町立美瑛中学校					校長名	金山達也		
教育活動	<p>長年にわたり、「未来を見据え、限らない可能性に駆ける生徒」の育成を目指し、生徒の自発的・主体的な成長や発達を支える教育活動に取り組んでいる。</p> <p>特に、生徒との信頼関係の構築や安心できる学校づくりに向けて「全員担任制」を実施したり、保護者に寄り添い、町教委や保健福祉課、SSWなどとともに「拡大ケース会議」を定期的で開催したりするなど、生徒一人一人の状況に応じてチームで柔軟に粘り強く対応する教育とその仕組みづくりに大きな成果を上げている。</p> <p>また、中間・期末テストを廃止し、単元や題材ごとの「到達度テスト」の導入による指導と評価の一体化を図ったり、ICTを活用し、生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業を実践したりするなど、その実績は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成29年度・平成30年度 文部科学省「発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業」実践指定校</p> <p>令和元年度～令和3年度 北海道教育委員会「中1ギャップ問題未然防止事業」実践指定校</p> <p>令和4年度 上川管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデル事業」実施校</p>								

※ 学級数、生徒数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在、学級数の（）は、特別支援学級で内数

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	高等学校	管内	空知	学級数	3	幼児児童生徒数	46	教職員数	14
学校名	北海道夕張高等学校					校長名	濱村 隆 康		
教育活動	<p>地域創生や地域活性化に貢献できる人材の育成に向け、地域全体を学びの場と捉え、地域の教育資源を活用した教育活動を推進している。</p> <p>特に、バス待ちスポットの空間デザインやスクールバスの予約システムの開発など、地域の課題解決につながる活動のほか、「北海道CLASSプロジェクト」指定校として、自治体や地元企業と連携協働し特産品を活用した商品開発等、地域の魅力の発信に取り組んでいる。さらに、夕張高校魅力化プロジェクトとして、夕張市と連携し、小学校3年生から高校3年生までの10年間、タブレットによるオンライン英会話の授業を実施している。</p> <p>また、「総合的な探究の時間」において、札幌大学、北海道科学大学及び北海道文教大学と連携し、地域の歴史や文化、自然環境を学びながら、地域の活性化及び地域課題の解決につながるアイデアを生み出す取組を行っている。この取組が生徒の主体性やコミュニケーション能力の向上、郷土愛の醸成などにつながり、その実績は地域から高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成29年度～令和3年度 文部科学省「研究開発学校」指定校</p> <p>平成29年度～ 北海道教育委員会「高校生ステップアップ・プログラム」実施校</p> <p>平成30年度・平成31年度 北海道教育委員会「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習・指導方法の改善の推進事業」拠点校</p> <p>令和3年度 道立教育研究所プロジェクト研究「ICTを活用した授業実践」研究協力校</p> <p>令和3年度～令和5年度 文部科学省「COREハイスクール・ネットワーク構想事業」指定校</p> <p>令和3年度～令和5年度 北海道教育委員会「北海道CLASSプロジェクト」指定校</p> <p>令和4年度・令和5年度 北海道教育委員会「ICTを活用した海外の学校との交流事業」実施校</p>								

※ 学級数、生徒数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	高等学校	管内	檜山	学級数	3	幼児児童生徒数	49	教職員数	17
学校名	北海道上ノ国高等学校					校長名	吉田 享 平		
教育活動	<p>長年にわたり、校訓「剛健 創造 友愛」の下、人・地域・環境・世界とのつながりを感じながら、グローバルな視点で地域を想い、豊かな人間性を育てる学校づくりに取り組んでいる。</p> <p>特に、「地域探究学習」や「ふるさと高校生議会」など、地域の教育資源を活用した様々な学習活動を展開しており、これらの取組は、高校生が町の抱える現状や課題について考える良い契機となっており、町内の行政機関、企業及び各学校間の連携を深め、「コミュニティ・スクール」や「地学協働」の推進に大きな成果を上げている。</p> <p>また、町役場及び町消防職員の協力を得て高校が地域の核となる防災教育の推進や、町教育委員会の支援を受けた海外研修の報告会を行い、海外の文化を知ることによって改めて町の良さを町内の小・中学生をはじめとする町民に還元する取組など、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成26年度～平成29年度 北海道教育委員会「いじめ未然防止モデルプログラム事業」指定校</p> <p>平成27年度 檜山管内教育実践表彰 受賞</p> <p>平成28年度～平成30年度 北海道教育委員会「U-18 未来フォーラム事業」指定校</p> <p>平成31年度・令和元年度 北海道教育委員会「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習・指導方法の改善の推進事業」連携校</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「高校生ステップアップ・プログラム」実施校</p> <p>檜山管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 学級数、生徒数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（学校表彰）

学校種別	高等学校	管内	釧路	学級数	3	幼児児童生徒数	61	教職員数	17
学校名	北海道白糠高等学校					校長名	佐野住夫		
教育活動	<p>長年にわたり、地域を支える人材の育成を目指し、自治体や地元企業等と連携した教育活動支援体制の下、特色ある教育課程を編成し、望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。</p> <p>特に、学校設定科目「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」を接続したインターンシップを実施し、報告会において地元企業や地域住民から助言を得ながら探究活動を推進するとともに、地域の起業家や卒業生の協力を受け地域課題の解決に取り組む学習の推進など、3年間を通じた系統的なキャリア教育の推進に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自治体や地元企業等と連携して組織したコンソーシアムやコミュニティ・スクールによる生徒への教育活動支援体制を構築するとともに、早期離職者の減少を目的として地元企業と協力した卒業生の追跡調査を実施し、地域の公営塾と連携したキャリア教育指導を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成27年度～平成29年度 北海道教育委員会「就職指導の改善に関する研究」指定校</p> <p>平成28年度 釧路管内教育実践表彰 受賞</p> <p>平成30年度 キャリア教育優良学校等文部科学大臣表彰</p> <p>令和2年度 北海道教育委員会「就職指導の改善に関する研究」指定校</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「就職指導の改善に関する研究」指定校 釧路管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 学級数、生徒数及び教職員数は、令和5年（2023年）5月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	江別市立東野幌小学校			校長名	得能敏宏		
氏名	本岡育美	職名	教諭	年齢	34歳	教職員経験年数	12年		
教育実践のタイトル		児童の資質・能力の育成に向けた校内研究及び教科指導の改善・充実の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、教科指導の改善・充実に努め、研究部長として児童の確かな学力の育成に向けた校内研究の推進に尽力するとともに、野幌中学校区における小中一貫教育学力向上・授業改善部会の部長を務め、積極的に授業公開を推進するなど、管内教員の指導力向上に取り組んでいる。</p> <p>特に、校内研究においては、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の育成を単元計画に適切に位置付けた「東野小スタイル」の研究を進めるため、自ら提案授業を実施することで、校内の全教員の共通理解を図り、その成果を江別市学校課題研究発表会において管内の教員に提言するなど、授業改革に大きな成果を上げている。</p> <p>また、令和4年度には初任段階教員研修の講師として、児童や保護者との関係づくりに基づいた学級経営、教科指導及び学習環境の整備等について助言するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成26年度 石狩市教育振興会社会科（小）部会 授業者</p> <p>令和3年度 札幌市立ノホロの丘小学校学校課題研究会 共同研究者</p> <p>江別市教育研究会社会科（小）部会 授業者</p> <p>令和4年度 野幌中学校区小中一貫教育学力向上・授業改善部会 部長</p> <p>江別市学校課題研究発表会（発表校） 研究部長 研究発表</p> <p>初任段階教員研修 講師</p> <p>令和5年度 石狩教育研修センター主催ICT実技研修講座（初級） 講師</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	後志	学校名	共和町立北辰小学校			校長名	佐藤寛		
氏名	佐藤皓亮	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	18年		
教育実践のタイトル		体育科教育の指導充実の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、令和2年度からは小学校の体育専科教員活用事業における専科教員として、体育科の授業を通じて共和町内の児童の体力向上を推進する授業改善に取り組んでいる。</p> <p>特に、体育の授業にICTを導入することにより、児童自身が身体の動きを録画し、確認しながら活動に取り組むことができるようにするなど、主体的に運動に取り組む態度を育む実践を重ね、新体力テストの結果向上にも寄与しており、町内児童の体力向上と体育の授業における主体的な学びのモデルとして大きな成果を上げている。</p> <p>また、体育の授業に特別支援教育の視座に立ったスモールステップの支援を取り入れ、導入段階で継続的に取り組むことができる動的なストレッチを町内全ての学校で実践、普及、定着させ、町内の体育科の授業改善に中核的な役割を果たすとともに、後志教育研修センター主催の研修講座において、管内の教員を対象に研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和4年度 共和町教育研究会小中合同研修会 授業者</p> <p>後志教育研修センター研修講座「保健・体育」 講師</p> <p>後志管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	苫小牧市立錦岡小学校			校長名	後藤 敏彦	
氏名	がな ひがし やま し おり 東 山 志穂里	職名	教諭	年齢	37歳	教職員経験年数	15年	
教育実践のタイトル		児童の体力向上を目指した実践的な取組と体育科の指導の充実に向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、近年は、体育専科教員として優れた教科指導力を発揮し、児童が主体的に学ぶ体育の授業の充実を図るなど、児童の体力向上を目指した組織的な取組を推進する要としての役割を果たし、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業時間外に「元気タイム」と称した日常的にダンスや縄跳び等の運動に親しむ時間を設定し、外遊びを通じた児童の体力・運動能力を向上させる取組や、補強運動を取り入れたスモールステップによる授業改善など、児童一人一人の日常的な運動量を確保するための取組は他の模範となっており、管内の体力向上の取組の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、苫小牧市教育研究所や胆振教育局が主催する研修会及び研修講座において、体力向上講座の講師を務め、児童が主体的に活動に取り組むための授業改善について提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 体育専科教員</p> <p>令和3年度 苫小牧市教育研究所研修講座 講師</p> <p>令和4年度 胆振管内体力向上指導力向上研修 授業者 苫小牧市教育研究所委託事業 授業者 胆振管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 体育エキスパート教員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	登別市立幌別小学校			校長名	柴田 政人	
氏名	がな よし い まき ひろ 吉 井 真 裕	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		小学校における外国語科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、学級経営力や教科指導力の向上に取り組み、近年は、外国語専科教諭として優れた教科指導力を発揮し、遠隔等による交流活動に積極的に取り組むなど、小学校における外国語科教育の充実に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、コミュニケーション活動において、道外や海外の小学校とのICTを活用したオンライン交流やALTの家族とのビデオ交流など、児童が相手意識をもち、コミュニケーションの楽しさや意義を感じられるよう工夫した授業改善の取組は他の模範となっており、本道の外国語科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、登別市内3校の小学校で外国語科の指導に従事しながら、市内の中学校とも連携を図り、外国語科教育における9年間を見通した資質・能力を育成する授業改善や、指導の充実に向けた情報交流において中核的な役割を果たすとともに、「学校力向上に関する総合実践事業」地域協議会において授業者を務め、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成22年度～平成24年度 アグアスカリエンテス日本人学校 派遣</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「学校力向上に関する総合実践事業」第2回地域協議会 授業者 胆振管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	檜山	学校名	せたな町立北檜山小学校			校長名	浅沼珠恵		
氏名	佐藤 彩	職名	教諭	年齢	39歳	教職員経験年数	17年		
教育実践のタイトル		小学校での授業改善推進に関する取組							
教育活動	<p>令和3年度から檜山北部では最初となる「授業改善推進チーム」の担当教諭として、せたな町立北檜山小学校と今金町立今金小学校の2校を巡回し、国語科及び算数科の示範授業や、授業改善の協議を通して児童の学力向上に努めた。</p> <p>特に、推進チームが発行する通信や校内研修等で、「身に付けさせたい力を明確にした指導計画」や「全道で徹底する授業改善の取組」など、授業づくりの重要な視点を解説し、実際の授業を通してその具体と効果を示す実践は、管内の若手教員の授業力向上に大きな成果を上げ、高く評価されている。</p> <p>また、令和4年度には、「オール檜山「学び合い」プロジェクト」の講師を務め、国語科における自らの実践を発信するなど、檜山管内の国語教育の推進に尽力した。さらに、推進チーム映像版実践資料「自分の考えを数学的に表現し伝え合う授業づくりの実際」を作成し、その成果は管内及び全道に発信されるなど、道内の授業改善と学習指導の一層の充実に貢献している。</p>								
業績	<p>令和3年度・令和4年度 北海道教育委員会「授業改善推進チーム活用事業」 推進教員</p> <p>令和4年度 檜山管内教育実践表彰 受賞</p> <p>オール檜山「学び合い」プロジェクト 講師</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	網走市立東小学校			校長名	三村尚広		
氏名	谷口 寛人	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	14年		
教育実践のタイトル		ICTの活用を通じた授業改善の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、校内研修等の組織的な教員研修の充実に努め、近年では1人1台端末を効果的に活用した授業改善や校務におけるICTの効果的な活用等について、所属校のみならず網走市内、オホーツク管内の教育に大きく寄与している。</p> <p>特に、令和2年度から網走市学校ICT活用推進委員として、年間を通してICTを活用する能力の育成目標を示した「情報活用能力体系表」を作成するなど、市内の小・中学校におけるICTの効果的な活用推進において中核的な役割を担っている。</p> <p>また、所属校が主体校となっている地域連携研修では、網走市内の小・中学校へ情報発信・授業公開を行っているほか、「Google for Education 事例校」として、全国の教育関係者に対する授業公開を行う予定である。</p> <p>そのほか、管内小・中学校の校内研修の講師としてGIGAスクール構想の実現に向けた取組に係る発表や、オホーツク教育局及び網走地方教育研修センターが主催する研修会に講師として参加するなど、管内教育の推進・発展に尽力している。</p>								
業績	<p>令和2年度～令和4年度 管内小・中学校における校内ICT研修 講師</p> <p>令和2年度～令和5年度 網走市学校ICT活用推進委員</p> <p>令和3年度・令和4年度 学力向上フォーラム in 網走 講師</p> <p>令和3年度 雄武町学校教育振興会推進協議会学習会（ICT活用） 講師</p> <p>オホーツク夏の教育セミナー 講師</p> <p>令和4年度 網走地方教育研修センター研修講座「保健室経営」（ICT活用） 講師</p> <p>オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 地域連携研修（ICT活用指導力の向上の取組） 実践発表</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	佐呂間町立佐呂間小学校			校長名	二神孝久	
氏名	河合建弥	職名	教諭	年齢	33歳	教職員経験年数	10年	
教育実践のタイトル		特別活動を軸とした教育実践の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、特別活動を軸とした学級経営や、児童が主体的に学習を進める教科指導に取り組み、管内の初任段階教員研修等の場において、自身の教育実践の成果を発信している。</p> <p>特に、令和4年度オホーツク夏の教育セミナーにおける特別活動部会の発表者として、1人1台端末を活用した振り返りを通じた学びの継続による、児童の学ぶ意欲を高める取組を発信し、管内の教職員の資質向上に寄与した。また、令和5年度北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業における協力校の授業者として、佐呂間町教育委員会及び佐呂間町経済課商工観光係と連携・協力し、佐呂間町長による出前授業や、特産物のかぼちゃについて町との関わりを学ぶ学習など、地域の人材や教材等を積極的に活用する授業実践を展開した。</p> <p>また、「道徳と特別活動」（文溪堂 令和3年11月号）、「初等教育資料」（東洋館出版社 令和2年3月号）などにおいて、自身の特別活動における教育実践の記事が掲載されるなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和4年度 初任段階教員研修（4年次） 講師 オホーツク夏の教育セミナー特別活動部会 発表者 オホーツク管内特別活動研究会 研究部長 オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道特別活動研究会上川・旭川大会 提言者 北海道教育委員会「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業」協力校 授業者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	足寄町立足寄小学校			校長名	大宮秀夫	
氏名	ほどの野純貴	職名	教諭	年齢	36歳	教職員経験年数	13年	
教育実践のタイトル		国語科教育の指導充実にに向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、子どもが自分自身の言葉で見方や考えを表現するための力の育成に向けた、子どもを主体とした授業デザインについて、研究を深めている。</p> <p>特に、北海道教育大学釧路校の非常勤講師として「初等国語科教育法」の講座を担当し、教員を目指す学生に対して、授業づくりの具体的な構想や単元構成のポイントを教授するとともに、十勝管内の初任段階教員研修の講師として若手教員の育成に努めるなど、管内の国語教育の充実に大きな役割を果たしている。</p> <p>また、自校の学力向上推進コーディネーターとして、各種調査等の詳細な分析による児童の実態の適切な把握や、エビデンスに基づいた改善策の提示、また、授業改善の視点を明確にした校内研修を実施するなど、学力向上に貢献している。</p>							
業績	<p>平成28年度 第71回北海道国語教育研究大会網走大会「読むこと」部会 提言者</p> <p>平成29年度 第47回全国小学校国語教育研究大会北海道大会「読むこと」部会長 授業者</p> <p>平成30年度～令和元年度 釧路国語教育研究会 研究部長</p> <p>令和元年度 北海道教育大学附属釧路小学校授業力向上セミナー「書くこと」 授業者 北海道教育大学附属釧路小学校授業力向上セミナー「読むこと」 授業者</p> <p>令和3年度～令和4年度 北海道教育大学釧路校 非常勤講師</p> <p>令和4年度 初任段階教員研修（4年次） 講師 「十勝の子どもの学力」（十勝教育研究所発行） 授業に生かせる実践例執筆</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	音更町立音更小学校			校長名	栗原賢次		
氏名	森圭介	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	18年		
教育実践のタイトル		音楽科教育の指導充実及びICTの効果的な活用に資する取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、音楽科教育の充実に向けて、自身の研究成果及び授業実践に係る発表に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和4年度北海道音楽教育研究大会十勝・帯広大会において、教材とする曲の音楽表現に対する思いや意図、曲想と音楽の構造との関わりについて、着目点を明確化しながらJamboardを活用して児童の意見共有を行うといった授業実践の発表や、「初等教育資料」（東洋館出版社）における「音楽科における創造性豊かな子供の育成」をテーマとした実践事例に係る記事の執筆等を通して、本道の音楽科の授業改善の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自校の研修部において、通信の発行や校内研究の推進を通して、教科の学びを深めるICTの効果的な活用について、教員の共通理解を図る中心的な役割に従事し、教員の資質能力の向上や授業改善に向けて真摯に取り組む姿勢は、高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成20年度 帯広市個人研究サポートシステム研究成果発表会 研究発表</p> <p>平成21年度 理想教育財団「育て!プリントコミュニケーション（全国コンクール）」 審査員奨励賞</p> <p>平成28年度 北海道教育大学教職大学院旭川校院生修了研究発表会 研究発表</p> <p>令和4年度 北海道音楽教育研究大会十勝・帯広大会 小学校6年（器楽）研究実践・授業提供（発表者）</p> <p>令和5年度 「初等教育資料」（令和5年6月号／文部科学省編：東洋館出版社） 実践事例執筆</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	釧路	学校名	釧路市立昭和小学校			校長名	津田裕匡		
氏名	大場公博	職名	主幹教諭	年齢	43歳	教職員経験年数	19年		
教育実践のタイトル		組織的な学校改善の充実に係る取組							
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、確かな教育実践に基づく組織的な学校改善に尽力している。</p> <p>特に、教員が同じ目標の下で組織的に指導を行えるよう、日常的な学習規律の統一を図る「昭和スタンダード」を作成し、自己評価アンケートの分析に基づくPDCAサイクルによる授業改善や、全国学力・学習状況調査等のきめ細かな分析に基づく「学力向上プラン」の策定において中心的な役割を果たし、組織的な授業改善を推進するとともに、学校メールの活用方法の改善による校内外の連絡体制の確立など、ICTを活用した業務改善にも取り組み、時間外勤務時間の縮減に向けた年間業務の平準化や、計画的な業務の進行等の働き方改革に成果を上げている。</p> <p>また、釧路教育研究センターの専門員・研究所員として、釧路市内の幼稚園、保育園、小学校との連携に向けた業務引継シートを作成や、教員を対象とした研修講座の運営及び公開授業の実施において中心的な役割を果たすとともに、確かな実践に基づく提言発表や紀要の発行により、管内教育の振興と充実に大きく貢献している。</p>								
業績	<p>平成24年度 全道音楽研究会釧路大会 授業者</p> <p>平成28年度・平成29年度 釧路市立芦野小学校公開研究大会 研究発表</p> <p>平成29年度 釧路教育研究センター生徒指導研究専門委員会 紀要発行</p> <p>平成31年度・令和3年度 釧路教育研究センター学習指導研究専門委員会 紀要発行</p> <p>令和4年度～令和5年度 釧路市学力向上推進委員・釧路市保幼小連携に関するワーキングチーム会議 委員</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	根室	学校名	別海町立別海中央小学校			校長名	根本 渉	
氏名	大場 佳	職名	主幹教諭	年齢	53歳	教職員経験年数	31年	
教育実践のタイトル		「めざす子ども像」に向けた体制作りと近隣地域校を巻き込んだ教師力向上に向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、小学校教諭として、令和3年度からは主幹教諭として、学校全体で目指す「子ども像」を検討し、共有する「めざす子ども像会議」を主宰するなど、検証改善サイクルを意識した教育課程の改善に努めている。</p> <p>特に、各校務分掌のリーダーや学年主任から構成される「校務運営委員会」を主宰し、様々な場面において同僚職員への指導・助言をする中で、教職員が自ら学び、自ら考えて動き出せるように学校全体をコーディネートするなど、「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校である自校の「学び続ける職員集団」の風土醸成に力を尽くしている。</p> <p>また、自校をはじめ町内には初任段階教員が多いことから、近隣3校と連携した初任者研修及びメンター研修を主宰し、地域の初任段階教員のみならずミドル層の育成にも貢献しており、他校の教育関係者からも厚い信頼を得ている。主幹教諭として、管内の他の主幹教諭からも頼りにされアドバイスを求められる存在であるとともに、国語科教育、読書活動の充実、NIEにも精通している。</p>							
業績	<p>平成20年度～平成27年度 中標津小学校公開研究会 公開授業者</p> <p>平成28年度 北海道教育研究所連盟 第15次共同研究推進委員 根室教育研究所 副主任</p> <p>平成30年度～令和元年度 根室管内国語教育研究会 事務局長</p> <p>令和4年度 根室管内学校運営研修会「カリキュラムマネジメントの実際」 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	空知	学校名	美唄市立美唄中学校			校長名	多田 光次郎	
氏名	井上 大輔	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	26年	
教育実践のタイトル		自己肯定感や主体的に運動に取り組む意欲を高める保健体育科の授業実践の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、保健体育科の教員として継続的に授業改善に取り組み、生徒個々の課題に応じた学習活動ができるよう、創意工夫ある教育活動を展開し、指導の充実に尽力してきた。</p> <p>特に、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、1人1台端末をはじめとするICT機器の効果的な活用場面を精選し、生徒の振り返りを充実させるなどの日常的な授業改善を行ったことにより、主体的に運動に取り組む生徒が増えるなど、その取組は他の模範となっており、空知管内における保健体育科の授業改善の充実に貢献している。</p> <p>また、中学校体力向上推進事業の推進教員として、生徒会活動と連携したシャトルラン大会の実施や、生徒登校前の体育館・グラウンドの開放など、生徒が主体的に運動に取り組める環境整備等の取組を推進するとともに、美唄市内の小・中学校における出前授業において、自身の教科指導法を共有することで小中連携に尽力するなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和3年度 初任段階教員研修（2年次研修）公開授業（柔道） 授業者</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「中学校体力向上推進事業」 推進教員</p> <p>令和5年度 小中連携体育指導講師及び出前授業 授業者（美唄市立美唄中学校・美唄市立中央小学校）</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	北広島市立東部中学校			校長名	佐藤直己		
ふりがな氏名	たか井彩佳	職名	教諭	年齢	39歳	教職員経験年数	16年		
教育実践のタイトル		外国語科教育の充実に向けた指導方法の工夫・改善の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、外国語科の教材研究に努め、各種調査結果を基にした指導方法の工夫・改善に尽力するとともに、教務主任として、校内の学力向上に向けた検証改善サイクルの確立を図り、組織的な取組を推進する中で、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、平成27年度には、管内において「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」の講師を務め、平成30年度及び令和4年度には初任段階教員研修の講師として学級経営・教科指導等について助言を行うなど、管内の外国語科教育の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、校内においては、オールイングリッシュによる授業を実践し、同僚の教員の模範となるとともに、小学校との外国語の乗り入れ指導を担当し、中学校区の中核を担う教員として中1ギャップの解消に尽力するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
	業績	<p>平成24年度 千歳市国際交流事業アメリカ合衆国アラスカ州引率者</p> <p>平成26年度 石狩管内教育研究会英語部会 事務局次長</p> <p>平成27年度 北海道教育委員会「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」講師</p> <p>平成30年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>令和3年度 小中一貫教育全国サミット 授業者</p> <p>令和4年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>東部中学校教務主任・小中一貫教育学力向上部会代表</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	上川	学校名	旭川市立中央中学校			校長名	工藤 亘		
ふりがな氏名	やまもと 愛	職名	教諭	年齢	44歳	教職員経験年数	19年		
教育実践のタイトル		特別支援教育の指導充実の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、特別支援学校での勤務経験を生かし、生徒が抱える背景や課題を含めた生徒理解に取り組み、きめ細かな学級経営の充実に尽力するとともに、生徒に安心感をもたせる学習指導や生徒指導を推進する中で、生徒一人一人の良さや可能性を最大限に引き出す創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、現任校において、初任段階教員のメンターとして豊富な経験に基づく指導・育成に向けた取組や、他の教員との協働による、高等養護学校等への進学を見据えたキャリア教育の充実など、チームとして特別支援教育に当たる取組は他の模範となっており、本道の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道立特別支援教育センターと連携を図った「特別支援教育基本セミナー」において、全道各地の若手教員を対象に授業づくりに関する実践発表を行う中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>								
	業績	<p>平成27年度・平成28年度 比布町教育支援委員会 委員</p> <p>令和4年度 北海道立特別支援教育センター「特別支援教育充実セミナー」実践発表 北海道教育委員会「特別支援教育ファーストステッププログラム」リーダー教員 上川管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道立特別支援教育センター「特別支援教育基本セミナー」実践発表 旭川市特別支援教育相談員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	宗谷	学校名	幌延町立幌延中学校			校長名	小野 篤 夫	
氏名	八 鋏 勇 太	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	11年	
教育実践のタイトル		運動意欲・体力向上に向けた指導充実の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、自校において、体力向上の取組や運動に親しむ習慣づくりを実践し、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の種目別において、全道・全国の平均を上回る数値を記録するなど、自校生徒の体力向上に貢献している。</p> <p>特に、町内の小学校においてスキーや水泳の乗り入れ授業を行い、段階的にスキルアップを図る指導など、児童の学習意欲を引き出す創意工夫を重ね、町内の小中連携による体力や運動意欲の向上に貢献している。また、令和元年度から町の社会教育事業「かけっこ教室」の講師として、児童が体と頭を使いながら理解できるよう指導方法の工夫・改善を図り、町内の小学生の運動能力の向上に努め、運動の魅力を伝える活動を継続している。</p> <p>また、中学校体力向上推進教員として、各学校の模擬授業等に関する指導助言及び実践発表を通して、小・中学校の体育分野に係る体力向上プラン等に基づいた授業づくりの提案を行うなど、管内の教職員の指導力向上に大きく貢献している。</p>							
業績	<p>平成27年度 利尻島中高研究協議会 授業者</p> <p>令和元年度 宗谷管内教育研究大会豊富・幌延大会 授業者</p> <p>令和元年度～令和5年度 幌延町教育委員会社会体育事業「かけっこ教室」 講師</p> <p>令和2年度～令和5年度 宗谷地区中学校体育連盟陸上競技 専門委員長</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「体力向上支援事業」 中学校体力向上推進教員</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「中学校体力向上推進事業」 教員（スペシャリスト）</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	北見市立光西中学校			校長名	小野 朋 之	
氏名	わた なべ とも あき 章	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	12年	
教育実践のタイトル		数学科における指導方法工夫の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、オホーツク管内算数・数学教育研究会に所属し、北海道算数・数学教育研究大会において、「問題解決の授業における個人思考のあり方に関する実践」を提言し、自力解決と集団解決の計画的な働き掛けの成果についての研究発表や「主体的な学習活動を充実させる集団解決の改善」と題した、生徒の考えを引き出し、広げていく指導に焦点を当てた実践例を基にした研究発表に加え、「第三観点の評価に対応した、問題解決の授業の実践」と題した、意図的・計画的な指導が主体的な学習の根幹となることの提言を行うなど、道内の数学科評価方法の研究に大きく貢献している。</p> <p>また、オホーツク管内においては、網走地方教育研修センター「算数・数学科教育」の講師として、北見市内の小学校における講座の運営や授業実践のほか、オホーツク教育局とオホーツク管内教育研究団体連絡協議会が共同で開催している夏・冬の教育セミナーでの実践事例発表など、管内の算数・数学科教員の模範となる活動を通して、管内数学教育の推進・発展に尽力している。</p>							
業績	<p>令和3年度～令和5年度 北海道算数・数学教育研究大会領域別分科会 研究発表者</p> <p>網走地方教育研修センター「算数・数学科教育」 講師</p> <p>令和3年度 オホーツク冬の教育セミナー 実践事例発表</p> <p>令和4年度 オホーツク夏の教育セミナー 実践事例発表</p> <p>オホーツク管内教師力向上セミナー「数学的活動の充実に向けた算数・数学科の授業づくり」研修会 パネリスト</p> <p>オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	帯広市立帯広第五中学校			校長名	高橋 譲	
氏名	かみ した とも ゆき 神 下 智 行	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	15年	
教育実践のタイトル		道徳教育の充実に向けた取組及びミドルリーダーとしての実践の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、中学校教諭として、教育活動全体を通じた道徳教育の充実に向けた取組を推進し、生徒の道徳性を養う授業改善に尽力するとともに、若手教員の育成や幅広い年齢層の教員をつなぐ役割を担いながら、全教員の共通理解を図る取組を重視した学校改善に努めている。</p> <p>特に、生徒が自己を見つめるための導入の工夫や、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めるための交流場面の位置付け、また、中心発問の工夫等を図った道徳科の授業実践を追求し、十勝教育サークル合同研究大会における実践内容の公開や、十勝教育研修センター研修講座の講師として道徳科の授業改善の重要性を普及するなど、管内の道徳科の授業力向上に大きく貢献している。</p> <p>また、初任段階教員研修の講師を務め、ミドルリーダーとして若手教員の育成に貢献するとともに、家庭学習の充実に係るルールの一統化や、生徒会と連携した自主的な家庭学習の推進に係る啓発など、校内の学習習慣の定着に係る取組について、教員間の意見集約等を行い、全教員の共通理解を図った学校改善を推進している。</p>							
業績	<p>平成26年度 十勝教育研究所 協力員</p> <p>平成27年度 初任段階教員研修 講師 十勝教育研究サークル合同研究大会 授業者</p> <p>平成28年度 初任段階教員研修 講師</p> <p>令和5年度 十勝教育研修センター研修講座「特別の教科 道徳」 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	空知	学校名	北海道岩見沢農業高等学校			校長名	野村 博之	
氏名	いし だ やす ゆき 石 田 康 幸	職名	教諭	年齢	42歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		地域資源を活かした教育活動の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校の農業科教諭として、地域特性を生かしたテーマに基づく教育活動、生徒の実態を踏まえ一人一人のニーズに応じた専門的な教育活動及び地方創生の学びにつながる教育活動に取り組んでいる。</p> <p>特に、「国際水準GAP教育推進プロジェクト」においてグローバルGAP認証取得に尽力するとともに、「専門高校フューチャープロジェクト」の一環として、農作物の冬期無加温栽培の実践において、ICT機器の活用など多様なニーズに対応した環境を整えることにより、北海道の将来を見据えた生徒の学習意欲の向上に貢献している。</p> <p>また、自校の農場長として、トマトの栽培方法及び経営の安定化につながる栽培技術の開発を目指して、JAと連携してプロジェクト学習を実施し、生徒が実際の地域課題解決に向けて取り組むことにより、農業生産現場の現状や、将来に向けた解決策について深く学ぶ機会を設けた。生徒の中には、学びを卒業後の農業経営に役立てる者もあり、地域農業に即した学びを展開し、主体的な地域社会の担い手育成を目指す実践は、高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成19年度 北海道高等学校農業教育研究大会農業クラブ指導者分科会 研究発表</p> <p>平成27年度 北海道高等学校教育研究大会農業教科部会 研究発表</p> <p>令和元年度～令和4年度 北海道園芸研究談話会 研究発表</p> <p>令和3年度 全国高等学校農場協会全国大会 研究発表</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会」 提言</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	石狩	学校名	北海道札幌南高等学校			校長名	宮澤 一		
氏名	梶田 啓太	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	11年		
教育実践のタイトル		科学的な思考力の育成に向けた探究型の授業を目指した取組							
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、生徒の科学的な思考力の育成に向けた探究型の授業改善について研究し、授業の中で「理科の見方・考え方」を働かせる場面を意識的に取り入れ、生徒が自らの気付きを見いだすことに重点を置き、継続して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をすることを通して、生徒の資質・能力を育む学習活動を展開している。</p> <p>特に、若手教員向けの実験講習会や教科指導力向上研修の講師として積極的な指導助言を行うなど、若手教員の資質・能力の向上に尽力するとともに、理科教育の動向について全国の理科教員との交流や研究協議を通じて研さんに努めるなど、本道の理科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、全国理科教育大会において、学習指導要領や大学入学共通テストを例に挙げた「科学的な思考力」についての提言や、教科書の編集協力、北海道生物教育会の事務局長として道内の理科教員を対象とした研修会の企画運営を担うなど、本道の理科教育における指導の充実に中核的な役割を果たし、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和4年度 東京書籍 高等学校理科教科書『生物基礎』 編集協力者 全国理科教育大会及び日本生物教育会（JABE）第76回全国大会 合同北海道大会 研究協議提言</p> <p>令和5年度 東京書籍 高等学校理科教科書『生物』 編集協力者 北海道高等学校理科研究会若手教員向け実験講習会 講師 第66回北海道理科研究大会 研究協議話題提供 北海道立教育研究所「教科指導力向上研修（中学校理科）」 講師 北海道生物教育会 事務局長（令和5年～） 北海道教育委員会「高等学校教育課程編成・実施の手引「理科（生物）」 執筆協力</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	胆振	学校名	北海道伊達開来高等学校			校長名	藤村 学		
氏名	宮川 萌	職名	教諭	年齢	40歳	教職員経験年数	15年		
教育実践のタイトル		学校教育と地域の社会教育を結ぶ「科学コミュニケーション」及びボランティア活動の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、学校教育と地域の社会教育を結ぶ「科学コミュニケーション」及びボランティア活動としての登山道の整備や自然公園の遊歩道の整備といった自身の活動に加え、自校の科学部生徒や部以外の生徒が、そうした活動に主体的に参加できる場をつくるなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、地域の自然活動団体と協働して、総合的な探究の時間における教材化に取り組み、風力発電施設の見学や、自然公園の高校生講師による一般見学会を企画運営するなど、地域探究学習の充実に尽力している。さらに、これらの成果について自校科学部で研究発表し、地域住民に還元するなど、地域の科学教育の充実に貢献しており、その実践は高く評価されている。</p> <p>また、令和5年度から武田科学振興財団による高等学校理科教育振興助成を受け、伊達市に隣接する有珠山において生態系調査を実施し、植生や動物相における基礎データを集め、その調査結果を活用した授業や教材について、地元の生徒に還元するための取組を進めている。</p>								
業績	<p>平成30年度 胆振教育局「平成30年度授業実践セミナー（道南・理科）」 講師</p> <p>令和4年度 公益財団法人北海道科学文化協会主催 科学（理科）教育貢献及び実践表彰 胆振管内教育実践表彰 受賞</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	オホーツク	学校名	北海道津別高等学校			校長名	太田 徹	
氏名	うね だ ひろ へい 上 田 弘 恵	職名	教諭	年齢	47歳	教職員経験年数	23年	
教育実践のタイトル		地域と連携した探究学習を通じた指導方法の工夫に向けた取組						
教育活動	<p>長年にわたり、教務主任等、学校運営の中核的役割を果たす教諭として、学校教育目標に掲げる生徒の資質・能力の育成に取り組み、社会に開かれた教育課程の充実に尽力するとともに、地域の教育資源や人材の活用を推進する中で、地域と学校の連携・協働による創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、総合的な探究の時間における、地域課題を探究する「つべつ学」の実践において、町役場や地域のNPO法人との連絡調整や、探究学習を通して身に付けさせる資質・能力を明確にした年間計画や単元配列表、シラバスの工夫に取り組むなど、全教員による教科横断型学習プログラムの活用を図った取組は、本道における地域協働活動に関する教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、探究活動の評価の方法についても検討し、レーダーチャートによる生徒の自己評価システムを開発するなど、GIGAスクール構想との連携を図った探究学習に関する指導の充実に中核的な役割を果たし、研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成31年度～令和5年度 津別町図書館建設検討委員会 委員</p> <p>令和4年度 北海道立教育研究所「総合的な探究の時間」実践研修 実践発表 オホーツク管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会『高等学校教育課程編成・実施の手引』 「総合的な探究の時間」作成協力 北海道教育委員会「北海道高等学校各教科等教育課程研究協議会「総合的な探究の時間」講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	北海道帯広緑陽高等学校			校長名	楡木 伸 司	
氏名	みや かわ のり みつ 宮 川 尊 充	職名	教諭	年齢	42歳	教職員経験年数	20年	
教育実践のタイトル		ICTを効果的に活用した情報活用能力の育成に向けた工夫改善の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、情報科における探究的な学びを推進し、近年ではICTを効果的に活用した生徒の情報活用能力の育成に努めている。</p> <p>特に、「S-T EAM教育推進事業」授業改善セミナーにおける教科指導スペシャリストとして、道東ブロックのみならず、全道各地にて講師として実践発表を行い、クラウドサービスを活用した教材の配布や課題の提示、学習理解度の可視化など、自校の取組の成果を発信しながら、1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実にに向けた授業改善に取り組んでいる。</p> <p>また、令和3年度から、高等学校教育課程編成・実施の手引における教科「情報」の執筆者として、学習指導要領の趣旨を踏まえ、観点別学習状況の評価や、指導と評価の一体化の在り方について、具体的な実践事例や評価問題の例示を通じた説明など、教科「情報」における探究的な学びを推進するための方策を示し、本道の高等学校における情報教育の改善・充実に尽力している。</p>							
業績	<p>平成29年度～令和5年度 北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会 担当者</p> <p>令和2年度～令和5年度 北海道教育委員会「S-T EAM教育推進事業」授業改善セミナー教科指導スペシャリスト</p> <p>令和3年度～令和5年度 北海道教育委員会「高等学校教育課程編成・実施の手引「情報」 執筆者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	十勝	学校名	北海道大樹高等学校			校長名	福本正規		
氏名	森 志美江	職名	教諭	年齢	54歳	教職員経験年数	32年		
教育実践のタイトル		家庭科教育を通じた地域に根ざした教育活動の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、地域の様々な人材を活用した授業に取り組み、生徒が主体的に家庭や地域の生活を創造する能力の育成に尽力する、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、担当の科目「家庭基礎」、「生活と福祉」、「子どもの発達と保育」、「フードデザイン」それぞれにおいて、地域人材の招へいや、町の社会福祉施設や子ども食堂といった関係機関への生徒の訪問など、地域の方と生徒が直接触れ合う機会を設けるなど、地域人材の活用を図った取組は他の模範となっており、本道の地域と連携した教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、大樹町給食センターと連携した高校生考案レシピによる給食の提供、企業と連携した町の推進するロケットにちなんだ「ロケットパン」の開発、さらに町教育委員会と連携した開放講座においては、料理教室の講師として毎年協力するなど、町の活性化や生涯学習の充実に大きく貢献しており、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>平成29年度～令和5年度 大樹町教育委員会「高等学校開放講座」講師 大樹町給食センターと高校生考案給食提供</p> <p>令和2年度 (株)満寿屋商店と「ロケットパン」共同開発</p> <p>令和4年度 農林水産省主催第7回食育活動表彰 北海道表彰</p> <p>令和4年度・令和5年度 文部科学省委託「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」 主担当</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	釧路	学校名	北海道霧多布高等学校			校長名	柴尾尚文		
氏名	島 加奈	職名	教諭	年齢	38歳	教職員経験年数	12年		
教育実践のタイトル		高等学校における特別支援教育の充実の取組							
教育活動	<p>長年にわたり、高等学校教諭として、高等学校における特別支援教育体制の整備と充実に尽力している。</p> <p>特に、自校において特別支援教育コーディネーターを務め、障がい特性やそれに応じた対応方法などの事例について、その豊富な経験に基づく実践的かつ即効性のある取組を校内研修において共有することで、教員全体の特別支援教育の視点に基づく指導の充実や、校内の特別支援教育の体制整備の推進に大きく貢献している。</p> <p>また、校外においても、多くの事業や研修会において特別支援教育に関する講師を務め、本道の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げるとともに、釧路管内の特別支援教育総合推進事業専門家チーム委員として、巡回相談により管内の学校に対する指導・助言を行う中心的な役割に従事するなど、その実践は高く評価されている。</p>								
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「特別支援教育総合推進事業」特別支援教育充実セミナー 講師</p> <p>令和3年度 釧路管内特別支援連絡協議会 講師</p> <p>令和4年度・令和5年度 北海道教育委員会「特別支援教育総合推進事業」 専門家チーム委員</p> <p>令和5年度 自主的研修・高等学校コースシンポジウム（北海道立特別支援教育センター主催） 講師 釧路管内初任段階教員研修（4年次） 講師 釧路教育局「特別支援教育コーディネーターを対象としたオンライン交流会」 講師</p>								

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	根室	学校名	北海道標津高等学校			校長名	渡辺幹夫	
氏名	鈴木祐二	職名	教諭	年齢	51歳	教職員経験年数	28年	
教育実践のタイトル		地域循環型防災教育及び理科教育の取組						
教育活動	<p>同校における生徒会担当として、「特別活動を通じた教育活動の充実」を目的として、積極的な地域連携による地域に根ざした生徒会活動を実践している。</p> <p>特に、防災教育において、「標津町オリジナルHUG」（避難所運営ゲーム）の作成や、同町内のこども園・小学校・中学校での防災に関する出前授業、また、町との連携による東日本大震災への被災地研修及び報告会の実施等、地域循環型防災教育の礎を築き、先進的な取組を実践した。また、その成果を、北海道教育委員会の主催事業等を通じて全道及び全国に発信・普及する活動にも尽力している。</p> <p>また、理科の教員として、海を題材とした学習活動を通して探究力を育むことを目的とした、海洋教育パイオニアスクールプログラムの単元開発の指定を活用し、北海道大学の教授を招へいした出前授業において、藻場・潮間帯を教材にするなど、理科教育における探究活動を実践している。その成果を令和5年度に大阪府で開催された海洋教育研究会において研究発表するなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 防災教育チャレンジプラン 防災教育優秀賞受賞 第24回ボランティアスピリットアワード コミュニティ賞受賞 第2回ユネスコスクール北海道・東北ブロック大会教育実践発表 実践大賞受賞</p> <p>令和3年度 第7回全国ユース環境活動発表大会全国大会 優秀賞受賞 防災未来賞「ぼうさい甲子園」 フロンティア賞受賞 防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞</p> <p>令和4年度 根室管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和5年度 海洋教育研究会 研究発表「海洋教育の導入から、地域とつながる教科等横断的な探究活動へ」</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（教職員表彰）

管内	檜山	学校名	北海道今金高等養護学校			校長名	飯出広行	
氏名	内田義文	職名	教諭	年齢	54歳	教職員経験年数	32年	
教育実践のタイトル		模擬株式会社の取組を通じた地学協働の取組						
教育活動	<p>長年にわたり、特別支援学校教諭として、本校における学習指導や生徒指導はもとより、職業学科を設置する高等部の学習の中心となる作業学習において、窯業科学科長として、地元の鉱物である土や石、マンガン等を活用した製品開発に向けた学習活動の充実を図り、卒業後の生徒の成長を見据え、製品開発の一連の流れを理解させることなどにより、社会で働くための力を生徒に身に付けさせる教育実践を行っている。</p> <p>特に、自校における模擬株式会社の設立から運営に至るまでの取組にも中心的に関わり、生徒会活動に「模擬株式会社委員会」を設け、外部講師による講義等を通じて働き方を学ぶ模擬株式会社学習会の実施により、生徒自身が社会で働くことへの意識の向上に大きく寄与しているほか、校外からの生產品受注の窓口を担当し、学校と地元の外部機関、催事等の事業における受入れの連携役として中心的な役割を担うとともに、管内の小・中学校の校内研修の講師を務めるなど管内に取組内容を発信し、本道の地学協働の推進に貢献している。</p>							
業績	<p>令和4年度 檜山管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	後志	学校名	寿都町立寿都小学校			校長名	前田 敦子	
氏名	千葉 慎也	職名	教諭	年齢	30歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		学力向上に向けた授業改善の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、1単位時間の学習の流れを明確にした板書指導案を作成・活用した教育実践に取り組み、校内の授業づくりの充実に尽力するとともに、研究部長として校内研修を推進する中で、児童の興味・関心を高める問題及び課題の設定など、日常の教育実践のポイントを積極的に発信し、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和4年度学力向上推進事業の第2回組織力強化会議において、自校の学力向上ロードマップを活用した組織的な授業改善の取組について実践発表を行うなど、管内の学力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自校の全学年の算数科の単元計画を作成し、校務共有フォルダで蓄積・共有することで、成果と課題のつながりを明確化し、働き方改革にもつながる持続可能な研修の取組を推進させるなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和3年度 初任者段階教員研修（道教委計画研修・4年次） 講師 寿都町立寿都小学校実践発表会 実践発表</p> <p>令和3年度・令和4年度 後志教育研修センター「研修講座学級経営」 講師</p> <p>令和4年度 後志管内第2回組織力強化会議 実践発表 後志管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和4年度・令和5年度 後志教育研修センター所員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	上川	学校名	上富良野町立上富良野小学校			校長名	豊田 央	
氏名	藤井 司	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	6年	
教育実践のタイトル		算数科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、児童に寄り添った学級経営を基盤として、ICTを活用した授業づくりに取り組むとともに、校内研修等において積極的に授業を公開し、算数科を初めとした様々な教科において、ICTを活用した児童の考えや意見の交流方法について提案するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、「上川管内教育研究会南部地区研究大会」において、数学的活動の充実や数学的に問題発見・解決する過程を重視した授業を公開するなど、管内の教員の授業力向上に向けた取組は他の模範となっており、算数教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、上川管内教育研究会、上富良野町教育研究会と連携を図り、自校の教員に対して授業づくりに対する助言や相談を行うなど、自校の算数教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、令和5年度の教科用図書調査員（小学校算数）を務めるなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和4年度 上川管内教育研究会南部地区研究大会 授業者</p> <p>令和5年度 北海道教科用図書選定審議会調査員（小学校算数） 上川管内教育研究会 南部地区算数・数学班班長 上富良野町教育研究会 授業者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	釧路	学校名	釧路市立城山小学校			校長名	長谷川 郁 夫	
氏名	兒 玉 千 里	職 名	教諭	年 齢	32 歳	教職員経験年数	9 年	
教育実践のタイトル		道徳教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、優れた授業実践と学級経営を行い、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、研修部長として道徳科の授業改善における中心的な役割を担い、指導観の明確化と指導方法の工夫に重点を置き、主題に迫る発問や、板書、思考の広がりや深まりを生む交流活動の在り方について追求し、その成果を体系的にまとめるなど、道徳科における学校全体で共通理解を図った授業改善に貢献している。</p> <p>また、日頃から確かな教材研究に基づき、児童の実態に合わせた柔軟な単元計画を立て、優れた授業実践を行っており、ICT機器を取り入れ、児童の学習内容や課題について集約し、共有できる仕組みを確立することで児童の学習意欲を喚起する効果的な取組を行うほか、自校で取り組んでいる「家庭学習カード」を活用し、学習の計画や成果の視覚化を図るなど、授業と連動した家庭学習指導により、児童が自ら進んで学ぶ力を身に付けることを目指す指導実践を行い、成果を上げている。</p>							
業績	<p>平成28年度 弟子屈町研究指定 弟子屈町立川湯小学校公開研究会 授業者</p> <p>平成29年度 釧路市センター研修講座「へき地複式教育」 授業者</p> <p>平成30年度 弟子屈町教育研究所 事務局長</p> <p>令和元年度 北海道国語教育研究大会札幌大会 分科会発表者</p> <p>令和3年度 釧路市研究指定 釧路市立城山小学校公開研究会 全体発表・研究紀要作成</p> <p>令和4年度 北海道国語教育研究大会釧路大会 授業者</p> <p>令和5年度 釧路教育研究センター 子ども支援研究委員 釧路市教科用図書調査委員会 委員（外国語）</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	函館市立椴法華中学校			校長名	堀切川 治	
氏名	棒 手 優 美	職 名	栄養教諭	年 齢	31 歳	教職員経験年数	9 年	
教育実践のタイトル		食に関する教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>栄養教諭として、食に関する指導の実践及び指導の充実に尽力するとともに、学校での食育を推進する中で、各地域の地場産物を活用した献立の立案等、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、食品ロス削減のためにできることは何かを考え、実践する子どもを育てるため、食品ロス削減を目的とした学校給食の献立立案の取組において中心的な役割を果たし、学校給食を生きた教材として活用する取組は他の模範となっており、本道の食育教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、バケツ栽培により収穫した米や地元産の鮭を使用した調理実習といった、家庭科などの他教科の教員との連携による食育指導の充実にも中核的な役割を果たすとともに、市の昆布の生産者とともに大阪府の小学校に出前授業を行い、居住地域と生活のつながりについてICTを活用した講話を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成30年度 北海道栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会 実践発表</p> <p>令和元年度 北海道学校給食コンクール 最優秀賞 受賞</p> <p>令和2年度 函館市立学校教職員表彰 受賞</p> <p>令和3年度 渡島管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	更別村立更別中央中学校			校長名	島村 雅樹	
氏名	児玉和宗	職名	教諭	年齢	30歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		外国語科教育の充実に向けた取組						
教育活動	<p>中学校教諭として、外国語科の授業改善に取り組み、学校力の向上に尽力するとともに、生徒の英語による表現力の向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和4年度には、E-Lineセミナーの中核教員として、更別村内の小・中学校の外国語教育における連携の中心となり、児童生徒の発達の段階に応じた5つの領域の目標を設定した小中連携型CAN-DOリストの作成や、小学生と中学生が英語を通して交流する活動を実践するなど、外国語教育における小学校と中学校の円滑な接続に取り組んでいる。</p> <p>また、主体的に学ぶ姿勢やコミュニケーション能力の育成を目標に、単元の目標を生徒と共有するとともに、目的や場面、状況、身に付けた知識及び技能を活用して、自分の考えや伝えたいことなどを適切に表現することができるよう、単元デザインの充実を図った授業実践の展開を通し、自校生徒の英語力の向上に成果を上げている。</p>							
業績	<p>平成28年度 帯広教育研究所外国語部会 授業公開</p> <p>令和4年度 更別村教育研究大会 授業公開</p> <p>北海道教育委員会「E-Lineセミナー」 中核教員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	七飯町立大沼岳陽学校			校長名	大橋 宏朗	
氏名	住吉太一	職名	教諭	年齢	25歳	教職員経験年数	3年	
教育実践のタイトル		ICTを活用した体育科の授業実践の取組						
教育活動	<p>採用以来、主体的・協働的・深い学びを軸とした授業改善に取り組み、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の育成の充実に尽力するとともに、日常的な体育授業における教育実践を推進する中で、ICTを効果的に取り入れた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>渡島体育研究集会では、3、4年生の「器械運動」の単元において、子どもが「運動に親しめた・がんばれた・共に成長した」と思える学習を目標とした研究授業を実施し、子どもが自己の課題を解決する場面の設定や、他者との関わりを促進する環境を整えるとともに、1人1台端末を活用した、学習資料としての技カードや動画等による振り返り場面の充実を図る取組により、児童が試行錯誤しながら運動課題の解決を図る姿が見られるなど、こうした実践は他の模範となっており、管内の体育教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、渡島体育研究会や渡島教育局と連携を図った初任層の教員に対する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、自身の授業実践に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「採用前ガイダンス」 講師</p> <p>令和3年度 七飯町教育研究会 保体部会 授業実践発表者</p> <p>令和4年度 渡島体育研究集会 授業者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	北海道森高等学校			校長名	佐 紺 撰 子	
氏名	菅 野 眞 文	職名	教諭	年齢	27歳	教職員経験年数	5年	
教育実践のタイトル		ICTを活用した教育活動の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、所属校の学校教育におけるICT環境の整備や、利活用体制の構築などの業務を担う「ICT活用検討委員会」において委員長を務め、特に、生徒の学習におけるタブレットPCの利活用や、遠隔授業システムの整備などを推進し、オンラインによる授業評価システムの構築や、不登校生徒の自宅と教室をオンラインでつなぎ同時双方向の遠隔配信による教育保障を可能にするなど、自校のICT環境の整備推進に貢献している。</p> <p>また、自身の担当教科である地理歴史・公民におけるICTを活用した授業実践や授業研究にも積極的に取り組み、授業の振り返りや、話し合い活動において「Google Classroom」や「Google Jamboard」を活用し、生徒が主体的に取り組むことのできる学習課題の工夫や、授業に参加しやすい環境づくりなどで成果を上げた。</p> <p>さらに、こうした取組が評価され、令和4年度には北海道教育庁ICT教育推進課の視察を受け、そのときの授業の様子がICT教育推進課ホームページに「授業実践事例」として掲載されるなど、道内におけるICTを活用した学習の普及・発展に貢献している。</p>							
業績	令和4年度 渡島管内教育実践表彰 受賞							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	上川	学校名	北海道剣淵高等学校			校長名	齋 藤 克 幸	
氏名	三 浦 学	職名	教諭	年齢	36歳	教職員経験年数	9年	
教育実践のタイトル		学校の魅力化・特色化に向けた教育課程の改善とICTを活用した教育活動の実践の取組						
教育活動	<p>令和3年度から教務主任を務め、総合学科としての学校の魅力化・特色化に向けた教育課程の改善を行うとともに、ICTを活用した教育活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和4年度に普通科の科目を中心として編成した「未来の進路系列」の開設に当たって、校内及び地域の合意を得るための取組において、計画の立案や内容の検討を行う中心的な役割を担うなど、ミドルリーダーとしての職責を果たしている。</p> <p>また、保健体育科の授業において、映像の再生遅延装置を活用し、自身の動作を即時に確認できる仕組みの構築や、体育的行事の進行表や結果表示のクラウド化など、ICTを活用した授業改善等にも積極的に取り組み、個別最適な学びの実現に向け、効果的な授業実践を行っている。さらに、名寄市内の教員研修において、体育指導の理論と授業における指導方法について講師を務めるなど、教員の資質能力の向上に貢献している。</p>							
業績	<p>令和3年度 名寄市教育研究所 体育・保健体育班実技研修 講師</p> <p>令和4年度 上川管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	宗谷	学校名	北海道枝幸高等学校			校長名	辻 芳 恵	
氏名	佐藤 優 樹	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		地域と連携した生徒の資質・能力を育成する取組やICTを有効に活用した授業改善の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、異校種教職員に向けた実践発表等を通して、地域における学校の課題の共有や改善に向けた取組を発信するなど、小中高を通じた地域の児童生徒の資質・能力の育成を推進している。</p> <p>特に、「エビデンスに基づく資質・能力育成事業」の実践校として、町内の中学校と連携した学習調査等の結果の分析やヒアリングを踏まえた校内研修や授業改善に取り組み、宗谷管内EBE協議会において実践発表を行うなど、管内の学力向上の取組に貢献した。また、自校の教務主任として、学校が協働的、組織的に地域と連携し、生徒の資質・能力を育成する「えさし研究」を軸とした、総合的な探究の時間の充実を図るとともに、対話を多く取り入れた校内研修の充実にも努めるなど、より良い教育課程の実施に向けて尽力している。</p> <p>その他にも、町と連携してICT設備を導入する準備から導入後における体制の整備において中心的な役割を担い、校内のICT環境の整備、運用に尽力した。加えて、管内の高等学校や町内の異校種教職員に対し、ICTを活用した授業改善事例を発信するなど、地域の教育力の向上に貢献している。</p>							
業績	<p>令和3年度 宗谷管内高等学校教育研究会教務部会研究協議会 実践発表 枝幸町教育委員会研修会 講師 枝幸町小中学校ICT教育研究会 講師 北海道教育委員会「ICTを活用した学びのDX事業」研究協議会 研究発表</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「エビデンスに基づく資質・能力育成事業」宗谷管内EBE協議会 実践発表</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	オホーツク	学校名	北海道雄武高等学校			校長名	千 葉 哲 也	
氏名	澤 井 愛 里	職名	教諭	年齢	29歳	教職員経験年数	5年	
教育実践のタイトル		地域と連携した授業実践の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、自校のキャリア教育の全体計画の体系化及び学内外の進路相談会や進路ガイダンスの企画と運営を進めている。</p> <p>特に、オホーツク地域の「高校生向け出前型ワークショップ」では、ファシリテーターとして、多種多様な業種の職業人と連携して、生徒の多様な職業観を育成し、地元で仕事をする事の大切さを学ぶ活動を行った。また、総合的な探究の時間では、校内委員会の発足から中心として活躍し、地域の要望により官・学・民が協働する「特産品開発プロジェクト」を立ち上げ、コーディネーターとして地域人材を活用し、外部講師の招へいや、商品開発の際に必要な教科横断的な取組の調整役として、常に自校をリードしている。</p> <p>その他にも、同僚に適切なアドバイスを与えることができ、若手教員の良い手本となり、ミドルリーダーとして学校運営にも積極的に参画するなど、自校における教育活動の推進に大きく貢献している。</p>							
業績	<p>令和4年度 オホーツク管内教育実践表彰 受賞 オホーツク総合振興局・北海道雄武高等学校共催「高校生向け出前型ワークショップ」 ファシリテーター</p> <p>令和5年度 北海道高等学校進路協議会 理事</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	北海道芽室高等学校			校長名	俵 英 生	
氏名	つば 粒 針 里 穂	職名	教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	7年	
教育実践のタイトル		国語科教育における指導と評価の一体化の推進に向けた取組						
教育活動	<p>国語科教諭として、教科の実践的指導力と教育的愛情を兼ね備え、探究的な学びを通して、生徒一人一人の可能生を引き出すことができるよう指導と評価の工夫改善に努め、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業中の言語活動の中で、他者と関わり合いながら自分の考えを伝え合う活動を重視しており、社会生活に必要な国語力やコミュニケーション能力の育成に尽力しているほか、令和4年度授業研究セミナー（道東ブロック・国語）では授業者として、「話すこと・聞くこと」の領域において、ICTを活用した相互評価や振り返りを行う中で、他者の思考や表現方法を踏まえた生徒自身の表現力の深化や向上につながる実践を発表することを通じて、指導と評価の一体化に向けた工夫改善の成果を普及し、管内の国語科教育の推進に貢献するなど、大きな成果を上げている。</p>							
業績	令和4年度 北海道教育委員会「S-T EAM教育推進事業」令和4年度授業研究セミナー授業者							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	釧路	学校名	北海道釧路明輝高等学校			校長名	三 浦 治 彦	
氏名	せき 関 や 谷 望	職名	教諭	年齢	29歳	教職員経験年数	7年	
教育実践のタイトル		地理歴史・公民科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、地理歴史・公民科教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、文部科学省指定事業である「人権教育研究推進事業」の取組として、学校設定科目「アイヌ学」において、地域人材の協力を得て、地域の遺跡を巡るフィールドワークなどの地域と連携した取組を推進したほか、「アイヌ学」と「国際理解教育」を関連付けた、多文化共生や人権教育を意識した取組を通して、多様性を理解し、持続可能な社会への貢献の視点へと生徒の思考を深める教育活動を行い、そうした実践内容が、文部科学省のホームページに事業報告書として掲載されるなど、本道の教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、校内の地歴公民科の中心となり、授業におけるタブレット端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組として、1人1台端末を活用した授業の理解度及び達成度の確認や、成績処理において統計処理を活用して指導と生徒の理解や活用能力の相関関係を分析し、次年度の指導につなげる取組など、ICTを活用した教科指導の実践は他の模範となっている。</p>							
業績	平成30年度 後志管内地歴公民科教科研究協議会 地域巡検コーディネーター 令和3年度 文部科学省指定事業「人権教育研究推進事業」 担当 令和4年度 北海道教育委員会「S-T EAM」推進プロジェクト探究学習推進事業授業研究セミナー道東ブロック（地理歴史・公民） 授業研究チーム 協力員							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	留萌	学校名	北海道小平高等養護学校			校長名	齋藤利文	
氏名	おおくぼ じょう たく	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		地域支援の充実と特別支援教育への助言の取組						
教育活動	<p>特別支援教育コーディネーターとして、関係機関等との連携や特別な支援を要する生徒及び保護者に対する支援に取り組むとともに、専門的知見を生かし、校内及び管内の特別支援教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、パートナーティーチャー派遣事業においては、管内の各学校を訪問し、児童生徒の実態を把握した上で、障がいの種類や特性に応じた適切かつ具体的な学習支援・生活支援の在り方について、研修を通じて教員に具体的に助言するなど、管内の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、管内の自立支援協議会・療育部会と連携を図り、障がい者の社会的自立と支援に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、様々な協議会や研修を通じて研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度～令和5年度 留萌教育局管内専門家チーム 委員</p> <p>令和3年度 留萌管内高等学校養護教諭研究協議会兼北海道苫前商業高等学校校内研修会 講師 北海道遠別農業高等学校第3回校内研修会 講師</p> <p>令和4年度 障がい者の生涯学習推進研究協議会（小平町） 講師・助言者 留萌市立留萌小学校特別支援研修会 講師 北海道苫前商業高等学校校内研修会 講師 留萌南部地域幼児療育推進協議会療育部会講演 講師・助言者 特定非営利活動法人ウェルアナザーデザイン主催セミナー（職員研修） 講師</p> <p>令和5年度 令和5年度（2023年度）第1回放課後活動推進協議会（道北会場） （北海道教育委員会・北海道） 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在